

# 鹿児島地域 地域振興の取組方針

(骨子案)

## 第 1 章 時代の潮流と鹿児島地域の現状・課題

### 1 人口減少・少子高齢化の進行

- 本格的な人口減少社会の到来，少子高齢化の進行
- コミュニティの崩壊，産業の衰退，文化の消滅が懸念

### 2 地域の産業構造の状況

- 県内総生産の 4 割を占める
- 就業人口の約 8 割を占める第 3 次産業
- 農林水産業や製造業が県全体に比べ低い
- 経済のグローバル化の進展による地域経済への影響
- 観光資源や農林水産物などを海外に売り込む好機

### 3 高度情報化・技術革新の進展

- 「ソーシャルメディア」が社会生活の基盤となりつつある
- I o T, A I などの技術革新が急速に進展
- 離島や山間地などの条件不利地域での情報格差への配慮が必要

### 4 エネルギー・環境問題への対応

- 地球温暖化による自然環境や社会への影響
- リサイクル等による環境への負荷の低減が求められている
- 本県においては，再生可能エネルギーの導入が進んでいるが，その導入状況は，太陽光及び風力の割合が高い

### 5 価値観・ライフスタイル等の変化

- 晩婚化が進むとともに，生涯未婚率も上昇
- 本県における管理的職業従事者に占める女性の割合は低く，女性の力が十分に発揮できていない状況
- 国の調査では，男女共に「『仕事』と『家庭生活』をともに優先」など，複数の活動をバランスよく行うことを希望する人の割合が半数以上ある一方，現実には，女性は「家庭生活優先」，男性は「仕事優先」という結果

## 第2章 鹿児島地域のポテンシャル

### 1 豊かな自然環境

- 薩摩半島の中央部に位置する鹿児島市，日置市，いちき串木野市の3市と外海離島の三島村，十島村の2村からなり，南北300キロメートルの広がりを持つ
- 二つのジオパーク（鹿児島のシンボル桜島・錦江湾，日本で最も新しい巨大噴火の痕跡を今に伝える鬼界カルデラ）
- 日本三大砂丘の一つである白砂青松の吹上浜
- 三島村・十島村に残る手つかずの自然
- 豊富な温泉

### 2 地理的優位性

- 本県は，我が国本土の最南端に位置し，世界の経済成長の6割を占めるアジアに近接しており，地理的優位性を活かした交通・物流ネットワークが構築
- 県の中心部に位置しており，九州新幹線，在来線，九州縦貫自動車道，南九州西回り自動車道，鹿児島港など陸・海の主要な交通の発着拠点を有し，本県における陸・海の交通ネットワークの要衝として，また，人・物・情報の交流拠点として，大変重要な役割を担う

### 3 安心・安全で豊富な“食”

- 鹿児島市においては，都市近郊の特性を活かした軟弱野菜，桜島小みかん，桜島だいこんの生産
- 日置市においては，ちりめん，いちご，マンゴー，オリーブの生産
- いちき串木野市においては，マグロやつけあげ（さつまあげ），サワーポメロ，レタス，マンゴーの生産
- 三島村においては，椿油や大名たけのこの生産。焼酎の島内生産を2018年に開始
- 十島村においては，らっきょう，大名たけのこ，島バナナの生産

### 4 個性ある歴史と多彩な文化

- 戦国時代の島津家第17代当主島津義弘公が朝鮮出兵の際に80名余の李朝陶工を連れ帰り，薩摩焼が発展し今に伝承，「関ヶ原の退き口」を偲んだ「妙円寺詣り」が受け継がれる
- 薩摩藩11代藩主島津齊彬公は，集成館事業に着手し，当時日本最大規模の工場群「集成館」を築き，平成27年には，旧集成館を含む遺産群が，寺山の炭窯や関吉の疎水溝などの他の22の構成資産とともに「明治日本の産業革命遺産」として，世界文化遺産に登録
- いちき串木野市羽島から薩摩藩英国留学生が，英国に向け出航。地元では，留学生の功績を後生に伝えるために毎年「黎明祭」を開催し，「薩摩藩英国留学生記念館」を開設
- 三島村は，アフリカの民俗楽器「ジャンベ」の日本における聖地として，硫黄島で

は、フェリーの入出港の際には、島民がジャンベで出迎えと見送り

- 十島村悪石島の「盆踊り」は、旧暦の7月16日に来訪神であるボゼが現れ、無病息災を祈願

## 5 地域資源等を活用した個性ある産業

- 当地域の産業別就業人口の構成比は、第1次産業が2%、第2次産業が約17%、第3次産業が約81%
- 鹿児島市における第3次産業就業者の割合は県内トップ
- 県産の農林水産物を活用した食品製造業のシェアが高い
- 大島紬、薩摩焼、薩摩切子など伝統的工芸品等の生産

## 6 豊富な「ウェルネス」(健康・癒やし・長寿)素材

- 鹿児島市では、間近に見えるシンボル桜島や錦江湾は、日本ジオパークに認定されており、錦江湾を横断する「桜島・錦江湾横断遠泳大会」、桜島を眺めながら走る「鹿児島マラソン」、西郷さんの足跡を辿る「西郷どんの遠行」などを毎年開催
- 鹿児島市内では、銭湯の殆どが温泉であり、市民の身近に温泉がある。立地条件や温泉が魅力で、スポーツキャンプ・合宿の利用も多い
- 日置市は、湯之元温泉と吹上温泉と2箇所の有名な温泉がある自然と歴史が融合した地域で、最近では、古民家を改修したカフェができており、地元の食材を楽しむ
- 県立自然公園に指定されている吹上浜は、運動施設も充実していることから、毎年多くのスポーツ合宿に利用されており、江口浜は、海水浴客のほか、季節を問わず県内外からサーファーで賑わう
- 日置市内や東シナ海を一望できる片道15分程度の矢筈岳・諸正岳への登山道が整備されており、市民の身近な登山コース
- いちき串木野市では、薩摩街道や冠岳で毎年ウォーキング大会が開催されており、冠岳には、中腹を一周する登山や温泉を目的に県内外から観光客
- 白浜にも温泉施設があり、夕日のスポット
- 春には、冠岳や観音ヶ池市民の森公園で満開の桜を楽しむ客で賑わい、夏には、荒川で蛍を楽しむ
- 糖尿病や肥満の予防・改善などに適した外食メニューとして、「EATde(いーとで)健康メニュー」を開発
- 三島村では、ヨットレースが毎年開催されるほか、シュノーケリングなどのマリンスポーツを楽しむ
- 鬼界カルデラジオパークとして、日本ジオパークに認定されており、硫黄島の東シナ海を一望できる東温泉
- 村の特産品である椿の実が生産されており、石鹼やシャンプー等の材料として利用
- 十島村では、トカラ列島島めぐりマラソン大会が毎年開催されているほか、大物を目当てに、釣り客で賑わう

- 口之島のセラシマ温泉など、各島に温泉

### **第3章 分野別の取組方針**

#### 1 教育・文化・スポーツ

#### 2 保健・医療・福祉

#### 3 環境・エネルギー

#### 4 まちづくり

#### 5 地域産業